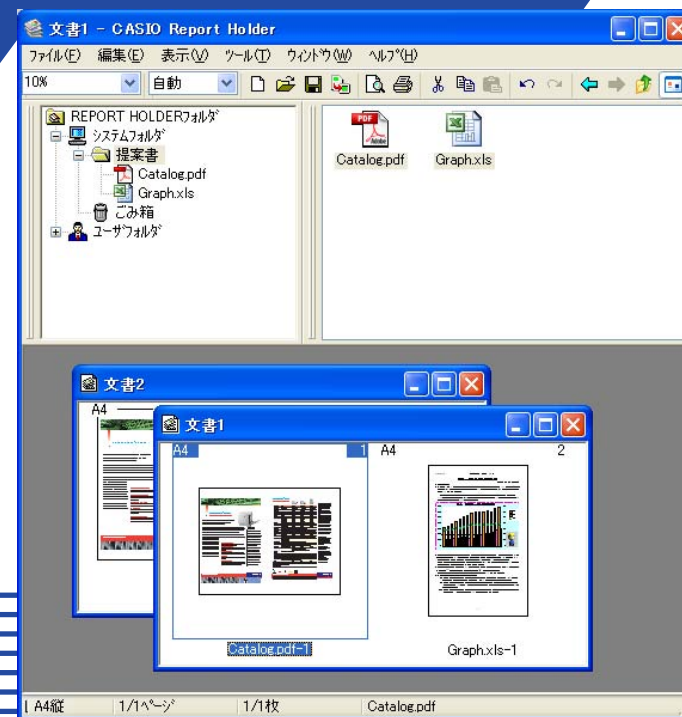
SPEEDIA

REPORT HOLDER for SPEEDIA
ソフトウェアマニュアル

REPORT HOLDER のセットアップ方法と操作方法について記載されています。

T-873P-8D
CE1107-B　　2011年7月23日　　第10版発行

はじめに

本マニュアルは、「REPORT HOLDER」のセットアップ方法、操作方法について記載してあります。
本マニュアルの各機能を十分にご理解の上、正しくお使いいただくようお願いいたします。

ご注意

(1) 本ソフトウェアおよび、マニュアル(以下、単にソフトウェア)の著作権は、カシオ計算機株式会社およびカシオ電子工業株式会社の所有です。
(2) 本ソフトウェアの一部または、全部を無断で使用、複製することは禁止されています。
(3) 本ソフトウェアの仕様ならびに、記載内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(4) 本マニュアルでは、Microsoft Windows 98 Operating System 日本語版をWindows 98と表記しています。
(5) 本マニュアルでは、Microsoft Windows Me 日本語版をWindows Meと表記しています。
(6) 本マニュアルでは、Microsoft Windows 2000 日本語版をWindows 2000と表記しています。
(7) 本マニュアルでは、Microsoft Windows XP 日本語版をWindows XPと表記しています。
(8) 本マニュアルでは、Microsoft Windows Server 2003 日本語版、Microsoft Windows Server 2008 日本語版をWindows Server 2003、Windows Server 2008と表記しています。
(9) 本マニュアルでは、Microsoft Windows Vista 日本語版をWindows Vistaと表記しています。
(10) 本マニュアルでは、Microsoft Windows 7 日本語版をWindows 7と表記しています。
(11) Windows に関する操作や概要につきましては、それぞれ付属のマニュアルをご覧ください。
(12) 本ソフトウェアの内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
(13) 本ソフトウェアを運用した結果の影響につきましては、(12)項にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
(14) 本マニュアルに記載されている画面は、開発中のものです。実際の画面と異なる場合があります。
(15) ご利用いただく環境によって、実際の画面表示と本マニュアル中の画面の図とで差異が見られる場合があります。
(16) SPEEDIA、REPORT HOLDER はカシオ計算機株式会社の登録商標です。
(17) Microsoft、Windows、Windows Server、Windows VistaおよびExcelは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
(18) その他記載された会社名および製品名等は、該当する各社の登録商標または商標です。
(19) 本文中またはソフトウェア上の記載には、必ずしも商標表示（®,™ マーク）を付記していません。

目次

REPORT HOLDER の概要

「REPORT HOLDER」は、アプリケーションで作成された文書を再編成するためのドキュメントソリューションです。
複数のアプリケーションで印刷された複数の文書を１つの文書にまとめたり、ページの配置を変更する、レイアウトを変更する、といった機能を持ちます。

REPORT HOLDER の特徴

・ 他のアプリケーションで作成した文書を、REPORT HOLDER 印刷機能（プレビュー＆レイアウト）に対応したプリンターを選択して印刷を行うことで、実際のプリンターに印刷する代わりに REPORT HOLDER の「スプールファイル」形式で保管します。スプールファイルは、「REPORT HOLDER エディター」で操作することができます。

・ 「印刷プレビュー」機能を使って印刷を行う前に印刷レイアウトを確認することができます。
REPORT HOLDER エディターでは、スプールファイルを、「選択ウィンドウ」／「表示ウィンドウ」に表示します。
選択ウィンドウ／表示ウィンドウでは、Windows エクスプローラでファイルを扱うようにスプールファイルを管理できます。

・ 「編集ウィンドウ」では、選択ウィンドウ／表示ウィンドウにあるスプールファイルやスプールファイルの各ページ（「スプールページ」）を部品のように扱います。
スプールファイルをドラッグ＆ドロップなどの操作で編集ウィンドウに挿入することで、REPORT HOLDER 文書として構成することができます。編集ウィンドウに挿入された各ページ（「編集ページ」）は、並べ替えや、レイアウトの変更を行うことができます。

・ REPORT HOLDER 文書は、２つの形式で保存できます。
保管された文書へのリンクにより文書を構成する CVD ファイル形式と、保管された文書を取り込んで文書を構成する CRD ファイル形式があります。

・ REPORT HOLDER では、文書の参照や構成を容易にするために多彩な表示機能を用意しています。次のような表示機能があります。
  ・アイコン表示（大きいアイコン表示、小さいアイコン表示、一覧表示）で文書名だけを表示、または文書の詳細情報だけを表示して、軽快に編集を行える詳細表示／リスト表示機能
  ・文書のプレビューを表示しながら編集ができるイメージ表示／概観表示機能
  ・構成した文書のプレビューを行う印刷プレビュー機能
  ・選択したページだけを表示するページプレビュー機能
  ・ウィンドウを切り替えずにプレビューを表示するスナップショット機能
  ・REPORT HOLDER エディターのウィンドウ状態まで含めて一括して切り替えることができるエディターモード／ビューアーモードの切り替え機能

・ 「CASIO 簡単エコ印刷」プリンターと組み合わせて使用することで、エコ機能に特化した「簡単エコ印刷」を行うことができます。
「簡単エコ印刷」については、プリンター活用ガイドを参照してください。

・

REPORT HOLDER の動作環境

本製品は、以下の環境で動作します。

●オペレーティングシステム

Windows 98/Me
Windows 2000
Windows XP (x86 Edition)
Windows Server 2003 (x86 Edition)
Windows Server 2008 (x86 / x64 Edition)
Windows Vista (x86 / x64 Edition)
Windows 7 (x86 / x64 Edition)

●ハードウェア

上記オペレーティングシステムが動作するコンピューター

※推奨環境
CPU：300MHz 以上
メモリー：64MB 以上
ハードディスク空き容量：200MB 以上の一時作業領域（さらに、スプールファイルを保管しておくための空き容量が必要です。）

REPORT HOLDER の構成

REPORT HOLDER は、以下のソフトウェアで構成されています。

- **REPORT HOLDER 対応プリンタードライバー**
  REPORT HOLDER に文書ファイルを投入する機能を持つプリンタードライバーです。
  このプリンタードライバーを選択して「REPORT HOLDER 印刷」を行うことで、REPORT HOLDER エディターで操作可能な「スプールファイル」に変換します。

- **CASIO SPOOL CONVERT プリンタードライバー**
  スプールファイルの変換を行うプリンタードライバーです。
  REPORT HOLDER エディターとともにインストールされます。
  ※スプールファイル変換専用プリンタードライバーです。このプリンターを選択して印刷することはできません。
  　このプリンターを削除すると、一部のアプリケーションでフォントが正しく表示されないことがあります。

- **REPORT HOLDER 対応プリントプロセッサ**
  プリンタードライバーと連携して、REPORT HOLDER 用スプールファイルを作成します。
  REPORT HOLDER エディターとともにインストールされます。

- **REPORT HOLDER 管理モジュール**
  スプールファイルの管理やエディターの自動起動などを行います。
  REPORT HOLDER エディターとともにインストールされます。

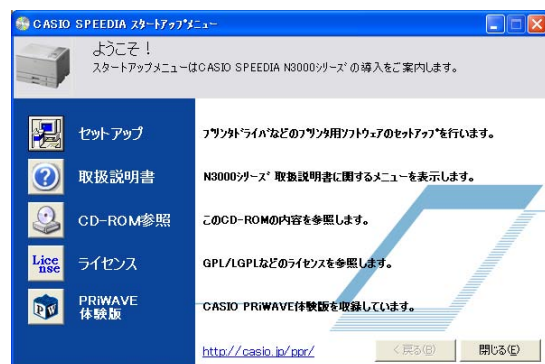
- **REPORT HOLDER エディター**
  文書ページを構成するためのエディターです。

REPORT HOLDER のセットアップ

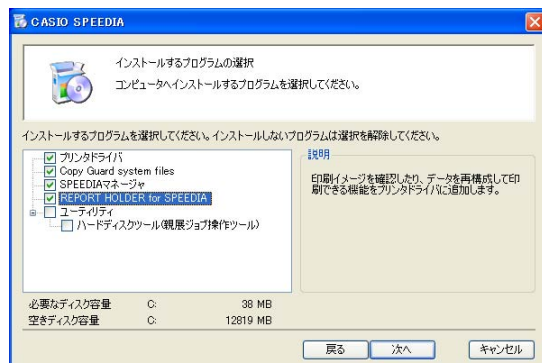
REPORT HOLDER をコンピューターにセットアップするためには、プリンタードライバーと REPORT HOLDER for SPEEDIA をインストールする必要があります。
ここでは、REPORT HOLDER for SPEEDIA を個別にインストールする方法をご紹介します。
プリンタードライバーのセットアップについては、プリンタードライバーのマニュアルなどをご覧ください。
（※ご利用いただくプリンターにより、画面の表示や設定項目が異なることがあります。）

●セットアップ CD-ROM を挿入する

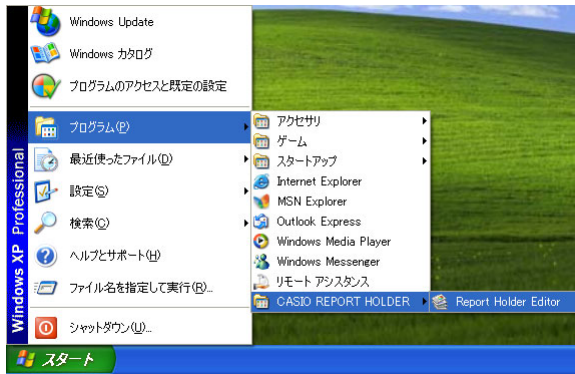
コンピューターに SPEEDIA プリンターの CD-ROM をセットします。

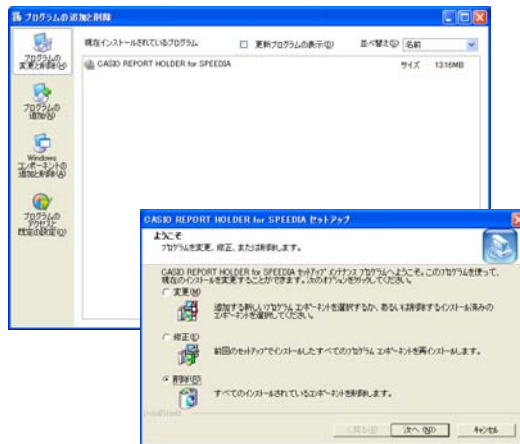
●セットアップを実行

自動的に表示される「スタートアップメニュー」から、セットアップを実行します。
（しばらく待っても自動的に「スタートアップメニュー」が表示されない場合には、エクスプローラなどから CD-ROM ドライブを表示し、Startup.exe を実行してください。）

●REPORT HOLDER エディターを選択してインストール

セットアップウィザードが表示されたら、「セットアップタイプ」画面まで「次へ」ボタンで進めます。
「セットアップタイプ」では「カスタム」を選択します。

「カスタムセットアップ」で REPORT HOLDER for SPEEDIA が選択されていることを確認してください。
同時にプリンタードライバーも選択します。（REPORT HOLDER 印刷を行うために、対応するプリンタードライバーもインストールする必要があります。）

セットアップウイザードの指示に従って操作を進めると、REPORT HOLDER for SPEEDIA がインストールされます。
インストール完了後、コンピューターの再起動を行ってください。
これで REPORT HOLDER のセットアップは完了です。

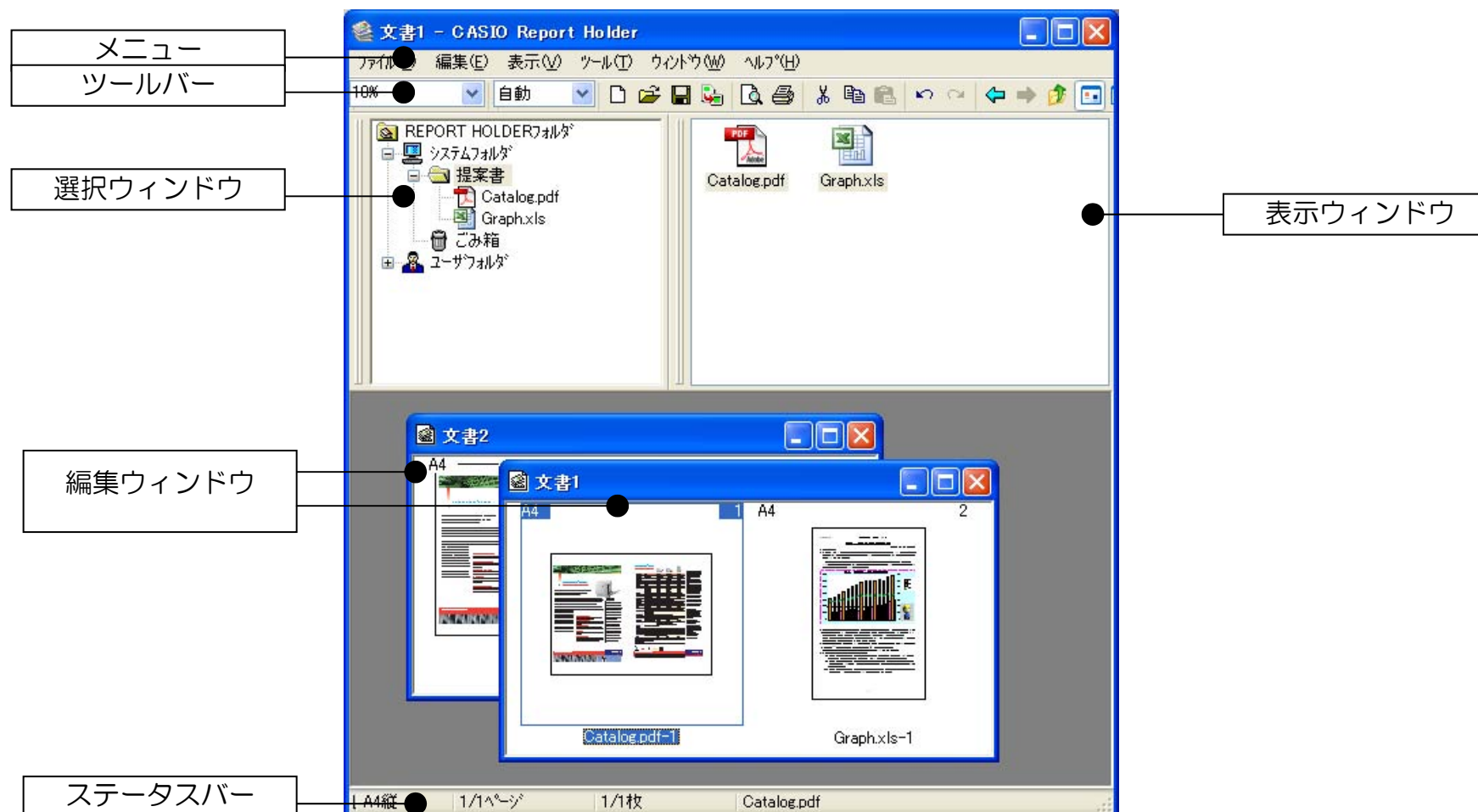
●REPORT HOLDER エディターを実行

セットアップが完了すると、スタートメニューに「CASIO REPORT HOLDER」が登録されます。「Report Holder Editor」をクリックすると、REPORT HOLDER エディターを起動することができます。

●REPORT HOLDER エディターのアンインストール

REPORT HOLDER をアンインストールする場合には、アプリケーションの追加と削除（Windows XP では、「プログラムの追加と削除」、Windows Vista/7 では「プログラムと機能」）から実行します。

REPORT HOLDER のバージョンアップなどで再インストールを行う場合には、必ず古いバージョンのアンインストールを行う必要があります。以下の方法でアンインストールを行ってください。

「アプリケーションの追加と削除」から「CASIO REPORT HOLDER for SPEEDIA」を選択して、「変更／削除」（Windows Vista では「アンインストールと変更」、Windows 7では「アンインストール」）ボタンをクリックすると、左図の画面が表示されます。「削除」を選択して「次へ」ボタンをクリックすると、削除処理が開始されます。

アンインストールが正常に終了した後、再起動を行ってから再インストールを実行してください。

REPORT HOLDER エディターの画面構成

■選択ウィンドウ

スプールファイルを格納するフォルダー構造を表示するウィンドウです。
フォルダー構造は、ツリー形式で表示されます。
フォルダー構造の基本となるフォルダーに、「システムフォルダ」／「ユーザフォルダ」があります。

●システムフォルダ

システムフォルダは、他のユーザーとスプールファイルを共有することのできるフォルダーです。
システムフォルダのディスク上の格納場所は、環境設定で変更することができます。

●ユーザフォルダ

ユーザフォルダは、ユーザーが固有に使用するフォルダーです。
ユーザフォルダのディスク上の格納場所は、環境設定で変更することができます。

●ごみ箱

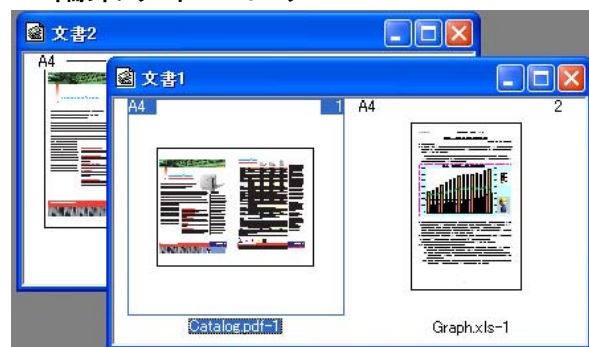
ファイルを削除したときに格納されるフォルダーです。
誤って削除してしまっても、ごみ箱に格納されているため、元に戻すことができます。
※REPORT HOLDER エディターでは、フォルダーはごみ箱に格納されず、単に削除されます。

●一時フォルダ

REPORT HOLDERエディターが一時的に使用するフォルダーで､エディターの終了時に削除されます。
CRD ファイルに保存されているスプールファイルも、一時フォルダ（CRD 一時フォルダ）を用いて展開されています。
※一時フォルダに格納されたスプールファイルは、エディターの終了時に削除されます。

■表示ウィンドウ

選択ウィンドウで選択されているフォルダーに格納されているスプールファイルを表示するウィンドウです。
選択ウィンドウでスプールファイルが選択されている場合には、スプールファイル内のスプールページを表示します。

■編集ウィンドウ

文書の編集を行うためのウィンドウです。
格納されているスプールファイル／スプールページを、選択ウィンドウ／表示ウィンドウからドラッグ＆ドロップしてページを追加することができます。

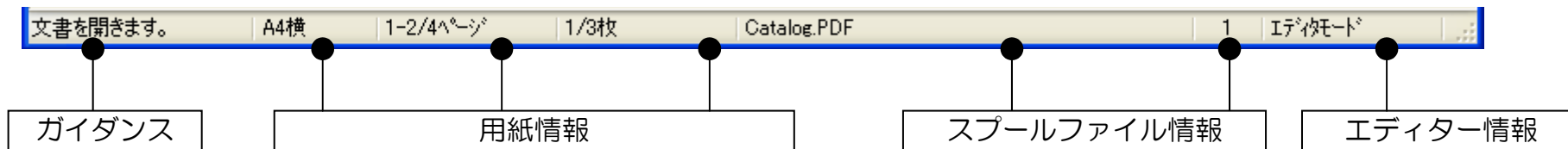
「ファイルメニュー・新規作成」から、新しい編集ウィンドウを作成できます。

■ツールバー

ツールバーを使って REPORT HOLDER エディターの各機能にすばやくアクセスできます。

10%	表示倍率	表示ウィンドウ（イメージ表示時）、編集ウィンドウ（概観表示時）のイメージ表示倍率を設定します。
自動	表示列数	編集ウィンドウに表示する列数を、固定することができます。
	新規作成	新しい REPORT HOLDER 文書を作成します。
	開く	REPORT HOLDER 文書ファイルを開きます。
	上書き保存	REPORT HOLDER 文書を既に指定された名前で上書き保存します。
	DPJ ファイル保存	作業中のファイルを、データプロジェクタ用画像（ＪＰＥＧ）形式で保存します。 ※データプロジェクタ付属の「CASIO EZ-Converter PRO」が必要です。
	印刷プレビュー	使用中の編集ウィンドウの印刷プレビューを表示します。
	印刷	使用中の編集ウィンドウの印刷を行います。
	切り取り	選択されたフォルダー、スプールファイルまたは編集ページを切り取ります。
	コピー	選択されたフォルダー、スプールファイルまたは編集ページをコピーします。
	貼り付け	切り取りまたはコピーを実行したフォルダー、スプールファイルまたは編集ページを挿入します。
	元に戻す	編集ページに対して行った操作を取り消します。
	繰り返し	編集ページに対して行った操作を繰り返します。
	戻る	１つ前のフォルダーに戻ります。
	進む	「戻る」で移動する前のフォルダーに進みます。
	１つ上の階層へ	選択ウィンドウで選択されている階層から、１つ上の階層に移動します。
	大きいアイコン	表示ウィンドウの表示モードを大きいアイコン表示に切り替えます。
	小さいアイコン	表示ウィンドウの表示モードを小さいアイコン表示に切り替えます。
	一覧表示	表示ウィンドウの表示モードを一覧表示に切り替えます。
	詳細表示	表示ウィンドウの表示モードを詳細表示に切り替えます。
	イメージ表示	表示ウィンドウの表示モードをイメージ表示に切り替えます。
	概観表示	編集ウィンドウの表示モードを概観表示に切り替えます。
	リスト表示	編集ウィンドウの表示モードをリスト表示に切り替えます。
	文書単位にまとめて表示	編集ページを文書単位にまとめて表示します。
	ページごとにばらして表示	編集ページをページごとにばらして表示します。
A4	基準サイズ	編集ウィンドウの配置を「基準サイズで整列」としたときなどに基準となるサイズを指定します。

■ステータスバー

主に現在選択している編集ページの情報が表示されます。

ガイダンス

メニューなどのガイダンスを表示します。

用紙情報

選択されている編集ページの情報を表示します。
左から、用紙サイズ・用紙方向／編集ページ数／編集用紙数を表示します。
編集ページ数と、編集用紙数は、マルチページの設定をしていない場合、同じ数になります。

スプールファイル情報

選択されている編集ページの参照元のスプールファイル情報を表示します。
左から、スプールファイル名／スプールファイルにおけるページ番号を表示します。

エディター情報

エディターの表示に関する情報を表示します。
現在のモードとして、エディターモードが選択されているか、ビューアーモードが選択されているかを表示します。

■メニュー

ファイル(F)　編集(E)　表示(V)　ツール(T)　ウィンドウ(W)　ヘルプ(H)

メニューの項目をクリックすると、サブメニューが表示されます。
各サブメニューをクリックしたとき、以下の機能が実行されます。

●ファイルメニュー

新規作成	**フォルダ** フォルダーを作成します。 **文書** 新しい REPORT HOLDER 文書を作成するときに実行します。 空の編集ウィンドウが作成されます。
開く	REPORT HOLDER 文書ファイルを開きます。
閉じる	REPORT HOLDER 文書を閉じます。
上書き保存	REPORT HOLDER 文書を既に指定された名前で上書き保存します。 名前がまだ指定されていない場合、名前を付けて保存の動作になります。
名前を付けて保存	REPORT HOLDER 文書に名前を付けて保存します。
DPJ ファイル保存	作業中のファイルを、データプロジェクタ用画像（ＪＰＥＧ）形式で保存します。 ※データプロジェクタ付属の「CASIO EZ-Converter PRO」が必要です。
取り込み	REPORT HOLDER 文書以外の文書を REPORT HOLDER エディターに取り込みます。 文書に関連付けられたアプリケーションが起動されて、自動的に REPORT HOLDER 印刷が実行されます。 ※この機能は REPORT HOLDER for SPEEDIA では、無効になっています。
ごみ箱を空にする	ごみ箱にあるスプールファイルを削除します。
ごみ箱から元に戻す	ごみ箱にあるスプールファイルを元のフォルダーに戻します。
スキャナ読み込み	スキャナからスプールファイルを作成します。 スキャナ読み込みダイアログボックスが開きます。 ※この機能は REPORT HOLDER for SPEEDIA では、無効になっています。

スキャナ設定	スキャナの設定を行います。 ※この機能は REPORT HOLDER for SPEEDIA では、無効になっています。 **デバイス設定** 　スキャナを選択するためのダイアログボックスが開きます。 **イメージ取得能力設定** 　スキャナの設定を行うためのイメージ取得能力の設定ダイアログボックスが開きます。 **スプール設定** 　スキャナから読み込まれたデータをどのようにスプールファイルとして格納するのかを設定するための REPORT HOLDER 印刷設定を行うダイアログボックスが開きます。
文書情報	使用中の編集ウィンドウの文書情報を表示します。
プロパティ	選択したフォルダー、スプールファイルまたは編集ページの情報を表示します。
リンク先を探す	選択された編集ページの元となるスプールファイルを表示します。
プリンターの設定	使用するプリンターを選択することができます。
ページ設定	使用中の編集ウィンドウに対するページ設定を行います。
印刷プレビュー	使用中の編集ウィンドウの印刷プレビューを表示します。
印刷	使用中の編集ウィンドウの印刷を行います。
最近開いたファイル	最近開いたファイルの名称が表示されます。選択したファイルを開きます。
終了	REPORT HOLDER エディターを終了します。

●編集メニュー

元に戻す	編集ページに対して行った操作を取り消します。
繰り返し	編集ページに対して行った操作を繰り返します。
切り取り	選択されたフォルダー、スプールファイルまたは編集ページを切り取ります。 切り取ったスプールファイルまたは編集ページは、「貼り付け」メニューを実行すると、指定した場所に移動します。 ※編集ページを切り取った後、更にコピーまたは切り取りを実行すると、最初に切り取った編集ページは削除されます。
コピー	選択されたフォルダー、スプールファイルまたは編集ページをコピーします。 コピーしたスプールファイルまたは編集ページは、「貼り付け」を実行すると、指定した場所に複写されます。
貼り付け	切り取りまたはコピーを実行したフォルダー、スプールファイルまたは編集ページを挿入します。
削除	選択されたフォルダー、スプールファイルまたは編集ページを削除します。

名前の変更	選択したフォルダーまたはスプールファイルの名前を変更します。
空白ページを挿入	空白のページを挿入します。
選択ページを挿入	選択されているスプールファイルまたはスプールページを編集ウィンドウに挿入します。
回転	選択されている編集ページを回転します。Windows 98/Me では、本機能は無効になっています。
レイアウト設定	選択されている編集ページのレイアウトを設定します。
レイアウト設定を解除	選択されている編集ページのレイアウト設定を解除します。
文書単位にまとめて表示	選択されている編集ページを文書単位にまとめて表示します。
ページごとにばらして表示	文書単位にまとめられている編集ページをページごとにばらして表示します。
バインダに入れる	選択されている編集ページを、バインダーにまとめて表示します。
バインダ解除	選択されているバインダーを個々のページにばらして表示します。
バインダ編集	選択されているバインダーの内容を表示する別ウィンドウを開きます。
選択の切り替え	選択されているページを非選択状態に、選択されていないページを選択状態に切り替えます。
すべて選択	ウィンドウ内のすべてのスプールファイルやフォルダー、または編集ページを選択します。

●表示メニュー

ビューアモード／エディタモード	ビューアーモードとエディターモードの切り替えを行います。
ツールバー	ツールバーの表示／非表示を切り替えます。
ステータスバー	ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。
選択ウィンドウ	選択ウィンドウの表示／非表示を切り替えます。
表示ウィンドウ	表示ウィンドウの表示／非表示を切り替えます。
ウィンドウ配置	選択ウィンドウ／表示ウィンドウの配置を切り替えます。
大きいアイコン	表示ウィンドウの表示モードを大きいアイコン表示に切り替えます。
小さいアイコン	表示ウィンドウの表示モードを小さいアイコン表示に切り替えます。
一覧	表示ウィンドウの表示モードを一覧表示に切り替えます。
詳細	表示ウィンドウの表示モードを詳細表示に切り替えます。
イメージ表示	表示ウィンドウの表示モードをイメージ表示に切り替えます。
リスト表示	編集ウィンドウの表示モードをリスト表示に切り替えます。
概観表示	編集ウィンドウの表示モードを概観表示に切り替えます。
プレビュー	選択されたページのプレビューを表示します。
整列	表示ウィンドウのフォルダーまたはスプールファイルについて、表示順を変更します。

配置	編集ウィンドウの配置方法を変更します。
ズーム	表示ウィンドウ（イメージ表示時）、編集ウィンドウ（概観表示時）のイメージ表示倍率を設定します。
ツリーをすべて展開	選択ウィンドウに表示されているフォルダー階層のツリーをすべて展開した状態にします。
フォルダの移動	戻る 　１つ前のフォルダーに戻ります。 進む 　「戻る」で移動する前のフォルダーに進みます。 １つ上の階層へ 　選択ウィンドウで選択されている階層から、１つ上の階層に移動します。
最新の情報に更新	スプールファイルの情報を、最新の状態に更新します。

●ツールメニュー

環境設定	環境設定ダイアログボックスを開き、環境設定を行います。 ※Windows Vista では、環境設定を行うために、管理者の権限が必要になります。ユーザーアカウント制御ダイアログが表示された場合、プログラムの実行を許可してください。
エディタ設定	エディター設定ダイアログボックスを開き、エディター設定を行います。
メール送信	メールに添付された REPORT HOLDER 文書を開いたときに、受け取り確認の返信を行います。

●ウィンドウメニュー

並べて表示	編集ウィンドウを並べて表示します。
重ねて表示	編集ウィンドウを重ねて表示します。

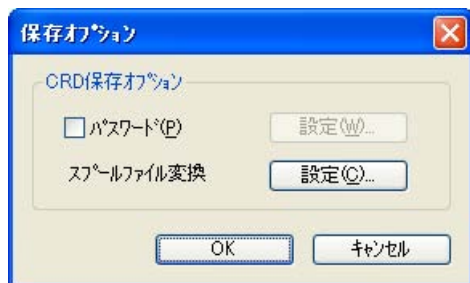
●ヘルプメニュー

トピックの検索	ヘルプのトピックを表示します。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。

■ダイアログボックス

メニューなどの操作によって、情報の表示や設定のためにダイアログボックスが表示されます。
各ダイアログボックスの機能について説明します。

●保存オプションダイアログボックス

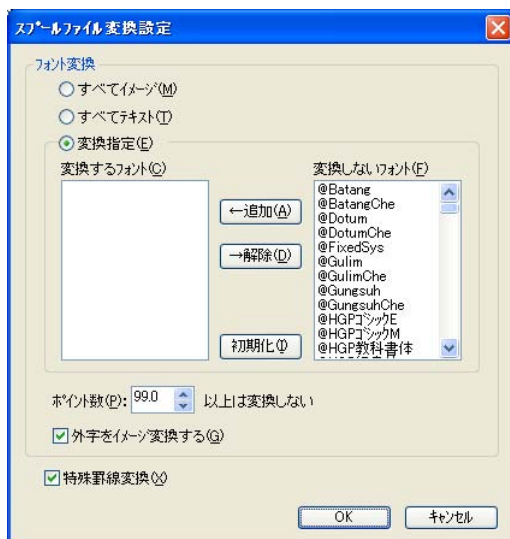
ＣＲＤファイル形式でファイルを保存するときの、詳細設定を行います。
パスワードとスプールファイル変換に関する設定ができます。

[パスワード]

文書にパスワードを付加して、文書を開くときにパスワード入力を要求するようにします。設定ボタンでパスワードを設定します。
※パスワード付き文書を開くためには、パスワード機能に対応したバージョン(Ver.5.40 以降)の REPORT HOLDER が必要です。

[スプールファイル変換]

「スプールファイル変換設定」ダイアログボックスを表示して、フォントなどの変換設定を行います。

●スプールファイル変換ダイアログボックス

ＣＲＤファイル形式でファイルを保存するとき、または「環境設定」で「スプールファイル変換設定」を行うときに表示されるダイアログボックスです。
フォントなどの変換に関する設定を行います。使用されているフォントを持たない他のコンピューターで正しく表示させるためには、フォントデータを画像イメージに変換する設定を行います。

[すべてイメージ]
すべてのフォントを画像イメージに変換する設定です。

[すべてテキスト]
すべてのフォントをそのままテキストとして保持する設定です。

[変換指定]
「変換するフォント」に指定したフォントだけを画像イメージに変換する設定です。
フォント名を選択して、「追加」ボタンと「解除」ボタンで「変換するフォント」、「変換しないフォント」に振り分けます。

[追加]／[解除]ボタン
フォントを「変換するフォント」、「変換しないフォント」に振り分けます。

[初期化]ボタン
「変換するフォント」、「変換しないフォント」を初期状態に戻します。

[設定保存]ボタン
「変換指定」の現在の状態を保存します。ＣＲＤファイル形式で保存するときのみ有効です。

[ポイント数～以上は変換しない]
ある一定以上に大きいサイズのフォントは、画像イメージに変換しないための設定です。大きいフォントを画像イメージに変換すると、REPORT HOLDER 文書のファイルサイズが非常に大きくなることがあります。

[外字をイメージ変換する]
画像イメージに変換しないフォントでも、外字であれば画像イメージに変換するための設定です。

[特殊罫線変換]
罫線がイメージパターンで描画されているような場合、縮小してしまうと消えてしまうことがあります。このような特殊な罫線を変換します。
（Microsoft Excel の罫線がこれに該当しています。）

●ページ設定ダイアログボックス

「ファイルメニュー・ページ設定」から表示されるダイアログボックスです。
ページ設定を行います。

[余白]

上下左右の余白値を設定します。
※プリンターの最小余白幅より小さい値は指定できません。
※エディター設定ダイアログボックスの「描画調整」設定により余白の効果が異なります。

[ページ設定オプション]

余白とヘッダ・フッタの位置取りを指定します。

[全ページ]

すべてのページに対して、指定した位置に余白、ヘッダ・フッタをとります。

[偶数ページを左右逆転]／[偶数ページを上下逆転]

奇数ページは指定の位置に、偶数ページでは左右または上下位置を逆転します。

[ヘッダ・フッタ印刷]

ヘッダ・フッタを印刷するかどうかを指定します。

[ページ番号]／[印刷日時]／[任意文字列]

ヘッダ・フッタには、ページ番号／印刷日時／任意文字列をそれぞれ印刷するかどうかを指定することができます。
更に、印刷する位置や形式などを指定できます。

[印刷単位]

ヘッダ・フッタ印刷を、用紙毎に印刷するのか、ページ毎に印刷するのかを指定します。マルチページ設定が行われていない用紙では、どちらの設定でも同じ結果になります。

[フォント指定]ボタン

ヘッダ・フッタ全体のフォントを指定します。

[印刷プレビュー]ボタン

ページ設定を有効にして印刷プレビューを表示します。

[初期値に戻す]ボタン

設定内容を初期状態に戻します。

●レイアウト設定ダイアログボックス

「編集メニュー・レイアウト設定」から表示されるダイアログボックスです。
編集ページのレイアウトを設定します。

[ページサイズ]
編集ページの元のサイズを表示します。

[用紙サイズ]
用紙のサイズを指定します。通常は、「ページサイズどおり」になっています。

[フリーサイズ]
フリーサイズを指定します。用紙サイズ項目がフリーサイズのときに指定します。１００×１００～２９７×１２００（mm）の値が指定できます。（実際に使用できるサイズは、プリンターによって異なります。）

[ページ方向]
ページの方向を表示します。

[用紙方向]
用紙の方向を指定します。自動の場合、元の用紙方向によって印刷する用紙の置き方が決定されます。

[ページ枠を描画する]
ページ枠を印刷するときにチェックします。

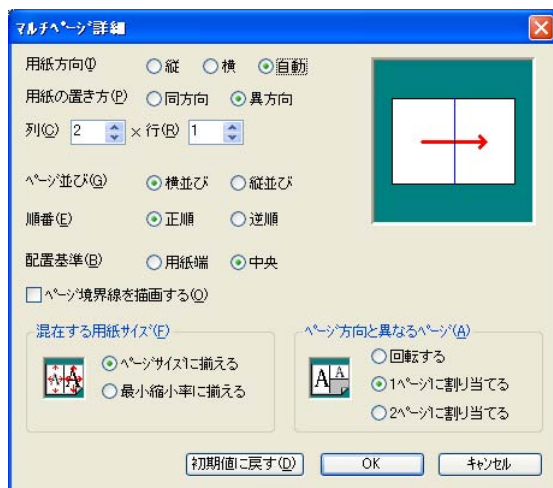
[マルチページ]
マルチページの設定を行います。自由設定の場合、「マルチページ詳細」ボタンで詳細が設定できます。

[マルチページ詳細]ボタン
マルチページ詳細ダイアログボックスを表示します。

[サンプル]
現在の設定に対応するレイアウトのサンプルを表示します。

[初期値に戻す]ボタン
設定内容を初期状態に戻します。

●マルチページ詳細ダイアログボックス

レイアウト設定ダイアログボックスから、マルチページ詳細ボタンをクリックしたときに表示されるダイアログボックスです。
レイアウト設定の内、マルチページに関わる設定を行います。

[用紙方向]
用紙の方向を指定します。

[用紙の置き方]
用紙方向が、自動のときのみ設定できます。ページ方向に対して、用紙をどのように置くのかを指定します。

[列×行]
マルチページの合成数を指定します。

[ページ並び]／[順番]
ページの並び方向とページの並び順を指定します。

[配置の基準]
ページの描画位置を用紙端合わせにするか、中央揃えにするか指定します。

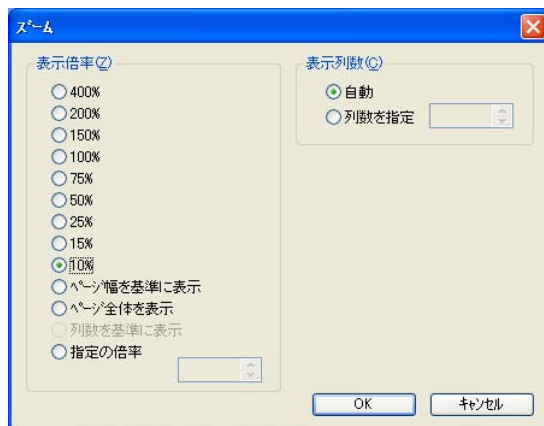
[ページ境界線を描画する]
ページ境界線を描画する時にチェックします。

[混在する用紙サイズ]
用紙内に複数の用紙サイズが混在したときの、拡大縮小方法を指定します。
「ページサイズに揃える」では、分割された領域いっぱいになるように、すべてのページを同じ大きさに揃えます。
「最小縮小率に揃える」と、すべてのページを同じ縮小率に統一します。

[ページ方向と異なるページ]
用紙内に縦／横が異なるページが混在したときのレイアウト方法を指定します。
「回転する」では、回転してページ方向を合わせます。※Windows 98/Me では、本機能は無効になっています。
「１ページに割り当てる」では、１ページを割り当てます。
「２ページに割り当てる」では、２ページ分を割り当てます。

[初期値に戻す]ボタン
設定内容を初期状態に戻します。

●倍率設定ダイアログボックス

「表示メニュー・ズーム・倍率設定」などから表示されるダイアログボックスです。
表示倍率を指定します。

[表示倍率]

表示倍率を指定します。
表示%を選択する他に、以下の設定ができます。

[ページ幅を基準に表示]

ページの幅と、ウィンドウの幅を基準に表示サイズを決定します。

[ページ全体を表示]

ウィンドウにページ全体が収まる倍率に調整して表示します。

[列数を基準に表示]

表示列数が１画面に入るサイズの倍率に調整して表示します。

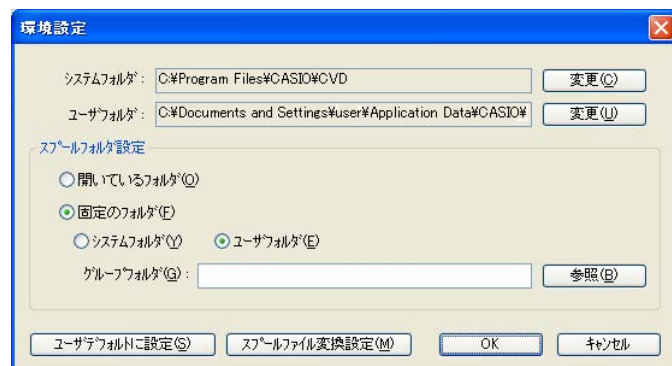
[指定の倍率]

表示倍率を%単位で指定します。

[表示列数]

編集ウィンドウに表示する列数を、固定することができます。
「自動」のときには、ウィンドウ幅に収まるページ数が自動的に表示されますが、列数を指定すると、指定したページ数に列数が固定されます。

●環境設定ダイアログボックス

「ツールメニュー・環境設定」から表示されるダイアログボックスです。
REPORT HOLDER エディターの環境設定を行います。

[システムフォルダ]／[ユーザフォルダ]

システムフォルダ／ユーザフォルダのディスク上のフォルダー設定です。
「変更」ボタンをクリックすると、システムフォルダ／ユーザフォルダを変更することができます。
※ システムフォルダの設定はコンピューターの管理者のみ有効です。管理者権限がない場合には指定できません。
※ 指定したフォルダー以下のファイル構造は、REPORT HOLDER が管理しています。エクスプローラーなどから直接ファイルの追加、削除、変更を行わないでください

[スプールフォルダ設定]

REPORT HOLDER 印刷を行ったときに、スプールファイルを格納するフォルダーの初期位置を指定します。

[開いているフォルダ]

REPORT HOLDER エディターで開いているフォルダーに格納します。

[固定のフォルダ]

グループ設定項目に指定したフォルダーに格納します。

[ユーザデフォルトに設定]ボタン

「ユーザフォルダ」以外の内容を初期状態として記憶します。コンピューターの管理者のみ有効です。設定した内容がそのコンピューター上で初めて使用するユーザーの初期値となります。

[スプールファイル変換設定]ボタン

スプールファイル作成時に行う変換機能について設定します。
詳細については「スプールファイル変換設定ダイアログ」を参照してください。

●エディター設定ダイアログボックス

「ツールメニュー・エディター設定」から表示されるダイアログボックスです。
エディターの動作設定を行います。

[表示タブ]

[表示ウィンドウの配置]
表示ウィンドウをイメージ表示にしているときに、どのようにページを配置するのかを選択します。

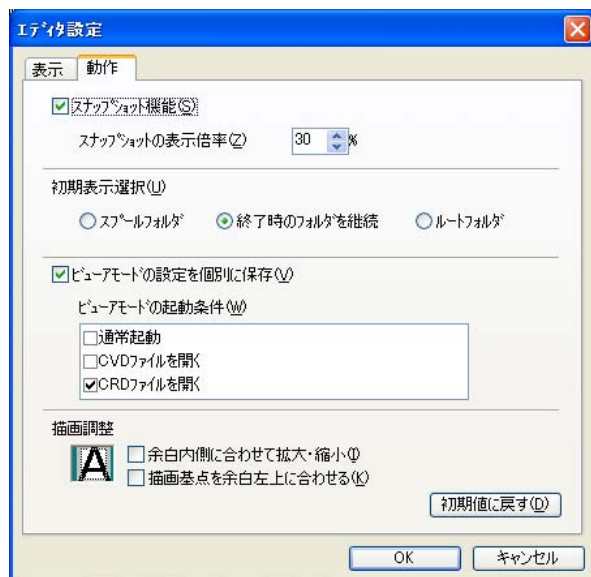
[基準サイズ]
編集ウィンドウの配置を「基準サイズで整列」としたときなどに基準となるサイズを指定します。

[タイトル]／[ページ番号]／[バインダ]／[グループ番号]／[用紙サイズ]
編集ウィンドウに表示される、タイトル／ページ番号／バインダ／グループ番号／用紙サイズの各付加情報を表示するかどうかを指定します。

[ページ枠のみ表示]
編集ウィンドウのページイメージを表示せずにページ枠だけの簡易表示にするかどうかを指定します。

[背景色]／[選択色]／[バインダ]／[バインダ背景]
編集ウィンドウの背景／選択／バインダ／バインダ背景の色を指定できます。

[初期値に戻す]ボタン
設定内容を初期状態に戻します。

[動作タブ]

[スナップショット機能]／[スナップショットの表示倍率]

スナップショット表示機能を使うかどうかを設定します。
また、スナップショット表示の表示倍率についても設定できます。

[初期表示選択]

REPORT HOLDER エディターを起動した時の選択ウィンドウの初期位置を指定します。

[ビューアモードの設定を個別に保存]

ビューアモードの表示状態を変更した場合に、記憶しておくかどうかを選択します。チェックすると、エディターを終了するか、エディターモードに移行するときに現在の状態を記憶します。

[ビューアモードの起動条件]

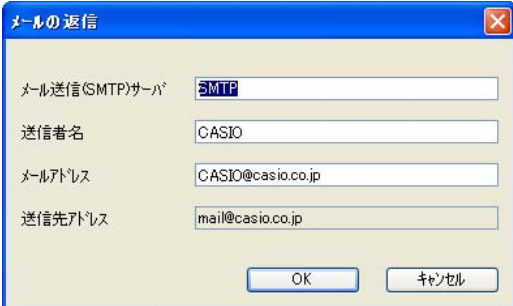
ビューアモードで起動する条件を選択します。チェックされている操作によりエディターが起動された場合に、ビューアーモード状態になります。

[描画調整]

[余白内側に合わせて拡大・縮小]

余白設定の値に合わせて、ページ全体を拡大・縮小するかどうかを設定します。

[描画基点を余白左上に合わせる]

余白設定の値に合わせて、ページの基点を移動するかどうかを設定します。

[初期値に戻す]ボタン

設定内容を初期状態に戻します。

●メールの返信ダイアログボックス

「ツールメニュー・メール送信」から表示されるダイアログボックスです。
メールで受信した CRD ファイルの送り元に、受信確認のメールを返信します。まだ受信確認のメールを返信していない CRD ファイルを開いた時のみ「メール送信」を選択することができます。

[メール送信(SMTP)サーバ]
　メールを返信する SMTP サーバ名を指定します。
[送信者名]
　ユーザー名を入力します。
[メールアドレス]
　ユーザーのメールアドレスを入力します。
[送信先アドレス]
　送信先である PRINT STAGE サーバのメールアドレスが表示されます。

●REPORT HOLDER 印刷設定ダイアログボックス

REPORT HOLDER 対応プリンタードライバーで表示されるダイアログボックスです。
REPORT HOLDER 印刷の設定を行います。

[表示モード選択]

REPORT HOLDER の表示モードを選択します。

[エディタモード]

編集操作に適した表示モードで REPORT HOLDER エディターを起動します。

[ビューアモード]

閲覧操作に適した表示モードで REPORT HOLDER エディターを起動します。

[印刷プレビューモード]

REPORT HOLDER エディターは起動せずにプレビューウィンドウを表示します。
スプールファイルは保存されません。

[簡単エコモード]

エコ設定に特化した簡単エコ印刷ウィンドウを表示します。

[スプールファイルの格納先]

スプールファイルを作成するときのグループやファイル名の指定方法を選択します。

[一時フォルダ]

REPORT HOLDER の「一時フォルダ」にファイルが格納されます。
※一時フォルダに格納されたスプールファイルは、REPORT HOLDER エディターの終了時に削除されます。

[印刷実行時に指定]

REPORT HOLDER 印刷を実行してからダイアログボックスが表示され、グループ名、スプールファイル名を指定することができます。

[エディタの指定に従う]

REPORT HOLDER エディターの「環境設定」ダイアログボックスで指定されたグループにスプールファイルを作成します。スプールファイル名は、自動的に設定されます。

[同一ドキュメントの格納方法]

スプールファイル作成時に、既に同名のファイルがある場合の処理方法を指定します。

[名前を指定]	ダイアログボックスが表示され、グループ名、スプールファイル名を指定することができます。
[上書き]	同名のファイルがあっても、これに上書きします。
[別名で格納（連番付加）]	連番を付けて、別のスプールファイル名で格納します。

[スプールファイル格納時の動作]

エディターの起動方法を指定します。

[新しい文書を作成]

REPORT HOLDER 印刷完了後、REPORT HOLDER エディターを起動します。
印刷した文書は、新しい REPORT HOLDER 文書に挿入された状態になります。

[開いている文書に追加]

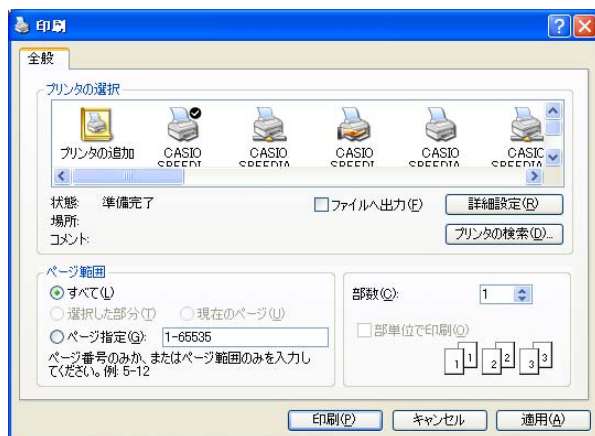
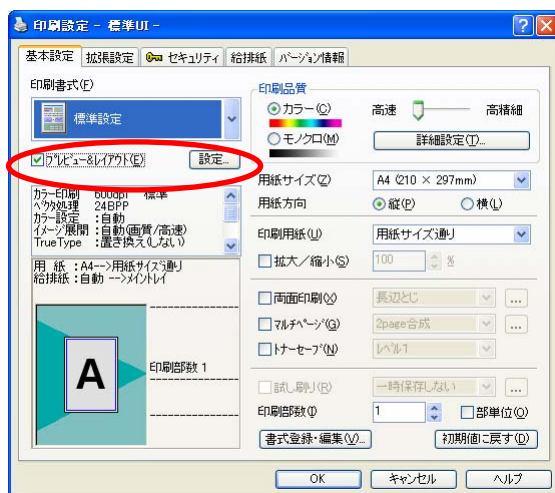
REPORT HOLDER 印刷完了後、REPORT HOLDER エディターを起動します。
印刷した文書は、既に開いている REPORT HOLDER 文書に追加された状態になります。

[格納のみ]

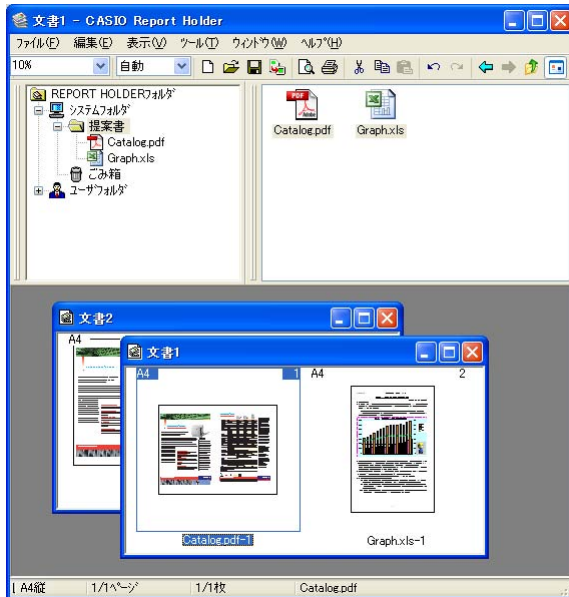
REPORT HOLDER 印刷完了後、REPORT HOLDER エディターを起動しません。

[エディタに印刷設定を反映する]

印刷実行時のプリンターの印刷設定が、REPORT HOLDER エディターで使用するプリンターの印刷設定に反映されるようにします。

基本的な操作

REPORT HOLDER で文書を扱えるようにするためには、アプリケーションから「印刷」を行います。
印刷を行うときには、実際に出力するプリンターの代わりに、REPORT HOLDER 印刷機能（プレビュー＆レイアウト）に対応したプリンターを選択します。

SPEEDIA プリンタードライバーでは、「プレビュー＆レイアウト」（REPORT HOLDER 印刷）チェックボックスをチェックし、「表示モード選択」が「エディタモード」または「ビューアモード」が選択されていることを確認してください。

「表示モード選択」で「印刷プレビューモード」を選択すると、通常の印刷を行う前に印刷プレビューを表示してレイアウトを確認することができます。

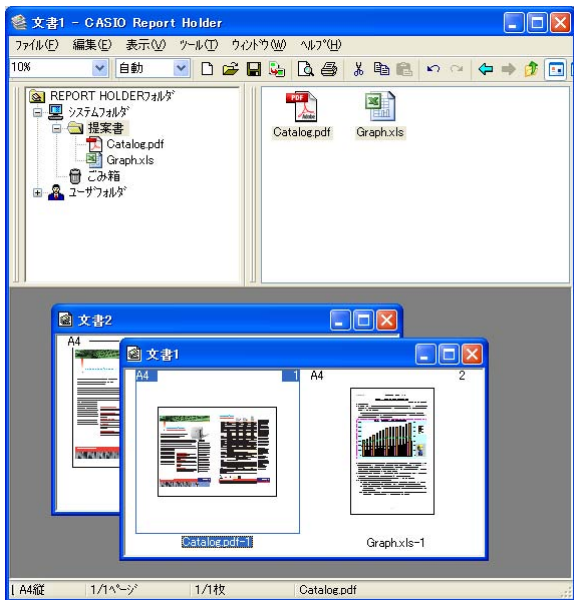
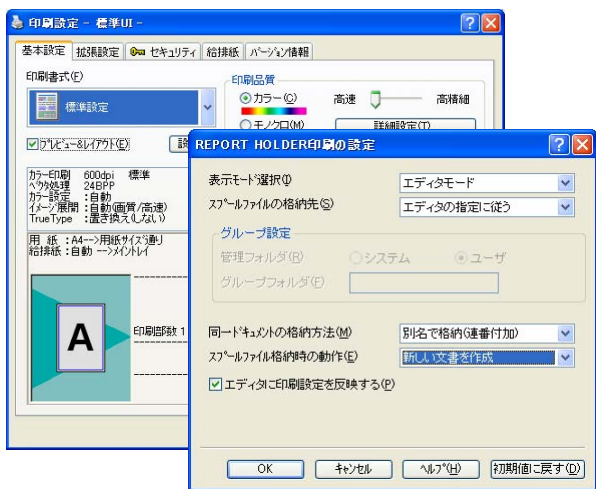
※画面はプリンタードライバーにより異なります。詳細はプリンタードライバーのマニュアルなどをご覧ください。

REPORT HOLDER 印刷によって作成されたスプールファイルは、「REPORT HOLDER エディター」で操作することができます。

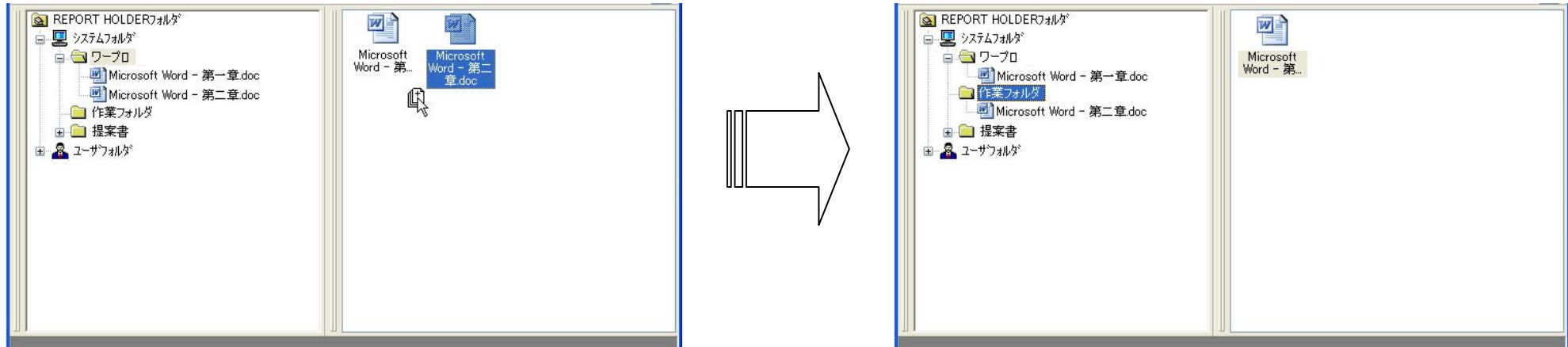
REPORT HOLDER エディターでは、スプールファイルを画面上で確認しながら、ページの並べ替えや、レイアウトの変更を行うことができます。
また、他にスプールファイルがあれば、そこからページを抜き出して、１つの文書にまとめることもできます。

REPORT HOLDER エディターで再編成した文書は、そのまま印刷したり、ファイルに保存しておくことができます。

■スプールファイルの操作

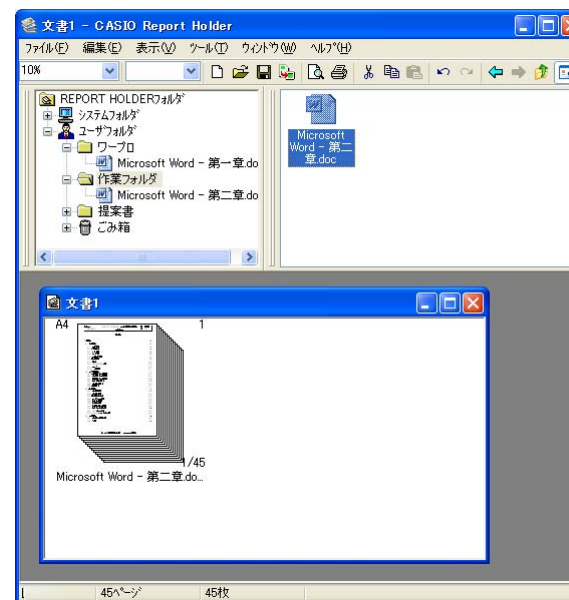
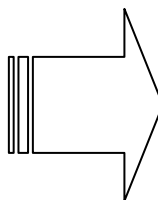
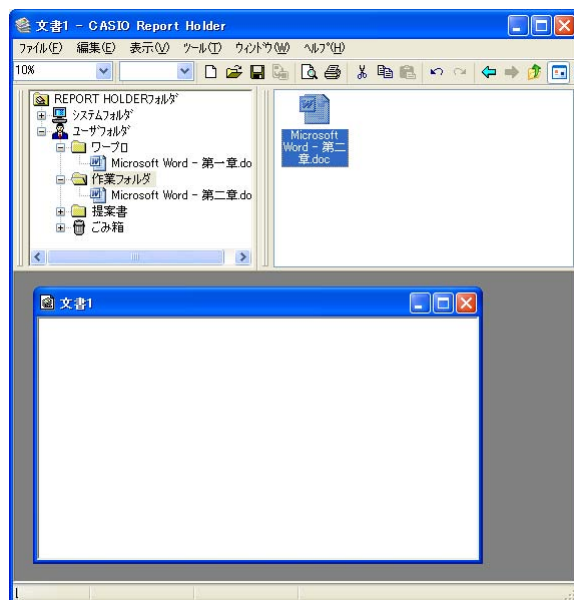
●エディターにスプールファイルを追加する

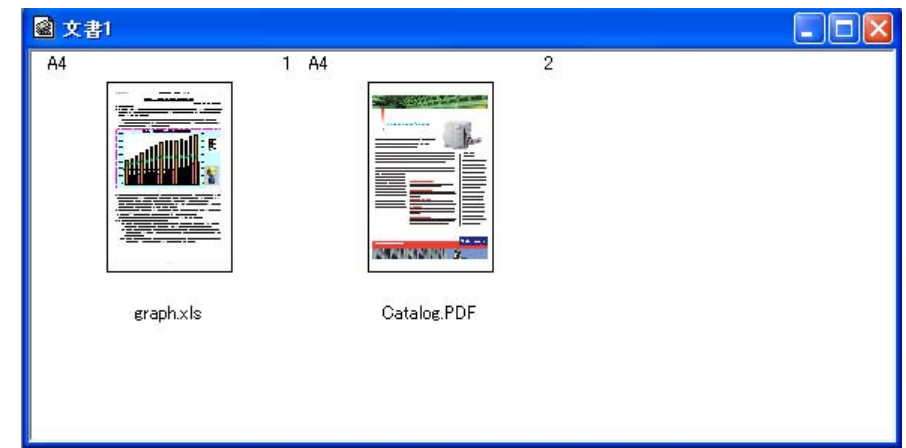
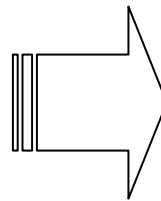
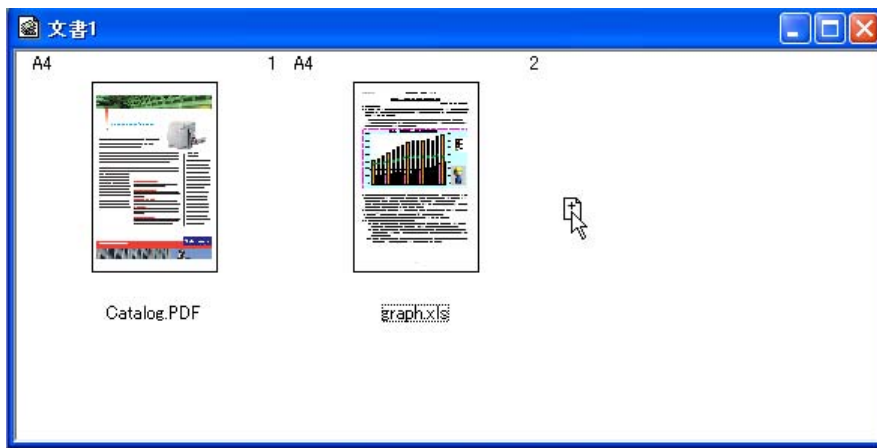
REPORT HOLDER 印刷を実行すると、REPORT HOLDER エディターに印刷した文書がスプールファイルとして追加されます。
追加されたスプールファイルは、エディターの選択ウィンドウ／表示ウィンドウに表示されます。
REPORT HOLDER 印刷設定の「スプールファイル格納時の動作」を、「新しい文書を作成」または「開いている文書に追加」を選択している場合には、編集ウィンドウに挿入された状態になります。

●スプールファイルを管理する

スプールファイルは、エディターの選択ウィンドウ/表示ウィンドウに表示されます。
選択ウィンドウは、フォルダー階層構造になっており、このフォルダーの単位でスプールファイルをグループ分けすることができます。
選択ウィンドウと表示ウィンドウでは、Windows エクスプローラのように、スプールファイルの移動やコピーを行うことができます。

■ページの編集

●ページの挿入

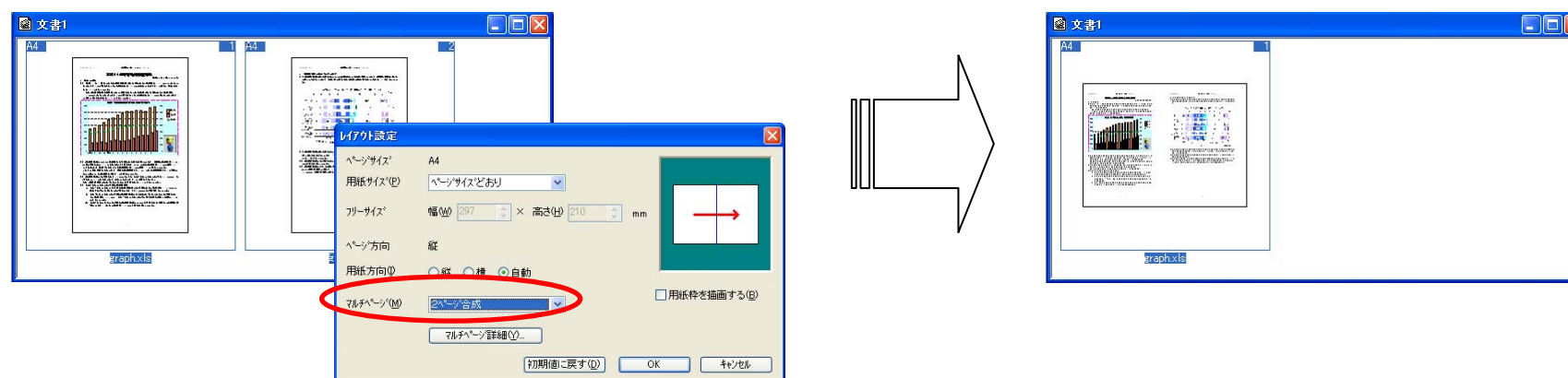
REPORT HOLDER印刷によって作成されたスプールファイルを、以下のいずれかの操作でスプールファイルを編集ウィンドウに追加できます。

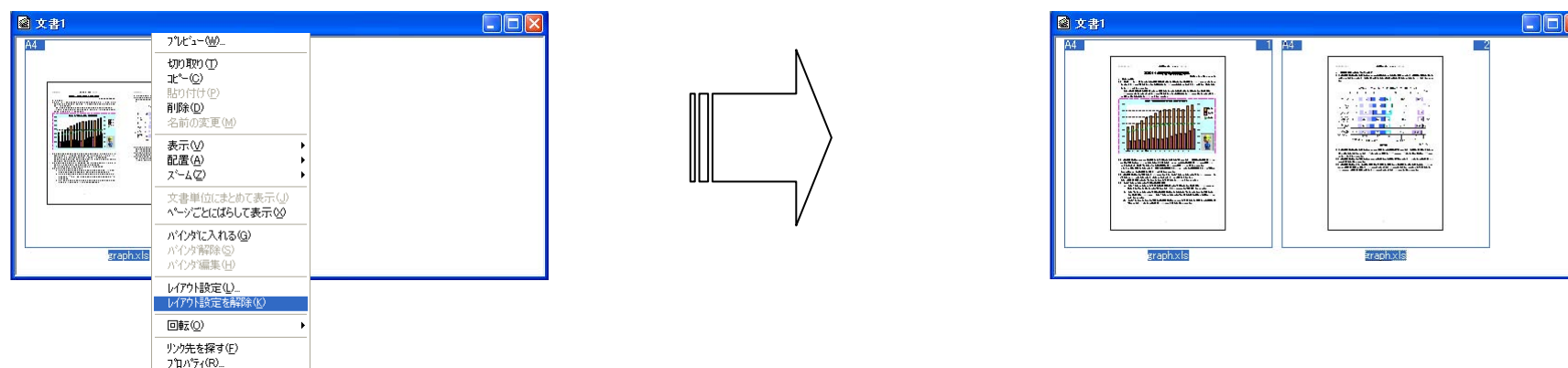
- **ドラッグ＆ドロップ**
  マウスを使って、編集ウィンドウに追加したいページをドラッグ＆ドロップで挿入します。ドラッグしながら編集ウィンドウにカーソルを移動すると、挿入カーソルが表示されます。挿入カーソルが挿入位置になりますので、これを目安にドロップを行ってください。
- **挿入メニュー**
  表示ウィンドウで挿入したいページを選択して、編集メニューから「選択ページを挿入」を実行してください。
- **コピーと貼り付け**
  表示ウィンドウで挿入したいページを選択して、編集メニューから「コピー」を実行し、編集ウィンドウでメニューから「貼り付け」を実行してください。

●ページの並べ替え
編集ウィンドウに挿入されたページを並び替えることができます。

- **ドラッグ＆ドロップ**
  マウスを使って、並び替えたいページをドラッグ＆ドロップで移動します。ドラッグしながらカーソルを移動すると、挿入カーソルが表示されます。挿入カーソルが挿入位置になりますので、これを目安にドロップを行ってください。
- **切り取りと貼り付け**
  移動したいページを選択して、編集メニューから「切り取り」を実行します。移動先のページの前にあるページを選択して、編集メニューから「貼り付け」を実行すると、切り取られたページが挿入されます。

●ページレイアウトの変更

編集ウィンドウに表示されている各ページのレイアウトを変更することができます。
ページサイズを変更して拡大／縮小したり、マルチページの設定を行って用紙１枚に複数のページを割り付けます。

・ レイアウト設定

レイアウトの設定を行うためには、レイアウトの変更を行うページを選択して、編集メニューから「レイアウト設定」メニューを実行します。
表示されるレイアウト設定ダイアログボックスでレイアウトの設定を行います。

・ レイアウト設定の解除

レイアウトの設定を行ったページは、編集メニューなどから「レイアウト設定を解除」メニューを実行すると、元の状態に戻すことができます。

●ページプレビューとスナップショット

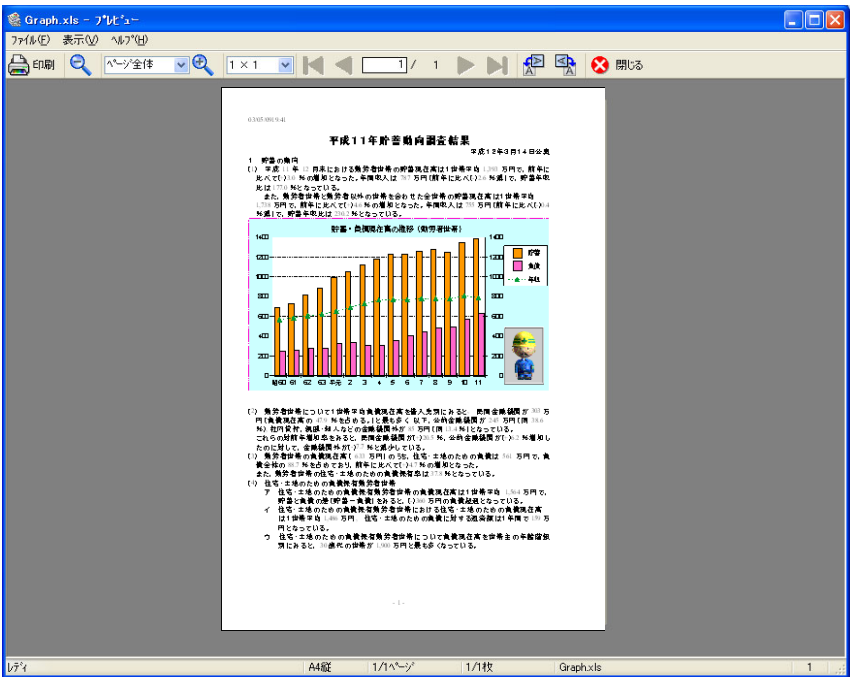
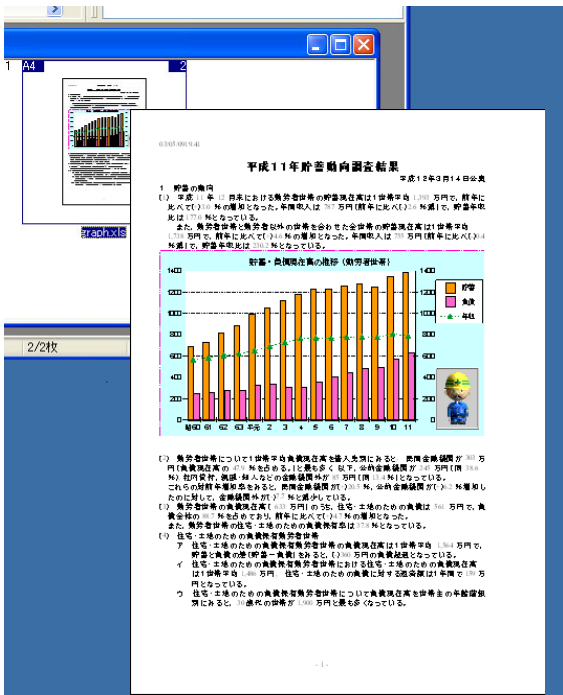
表示されているスプールページを手軽に確認するための機能として、ページプレビューとスナップショット機能があります。

- **ページプレビュー**

  プレビュー機能のひとつで、選択されたページのプレビューを表示します。
  スプールページまたは編集ページをダブルクリックすると、ページプレビューウィンドウが開き、そのページの内容を確認することができます。

- **スナップショット**

  プレビュー機能のひとつで、一時的にページイメージを表示します。
  ページをクリックしたまま、マウスを動かさずにしばらく待つとページイメージが表示されます。
  スナップショット機能のON／OFFおよび、表示倍率はエディター設定で変更できます。設定を行うためには、ツールメニューから「エディタ設定」メニューを実行します。

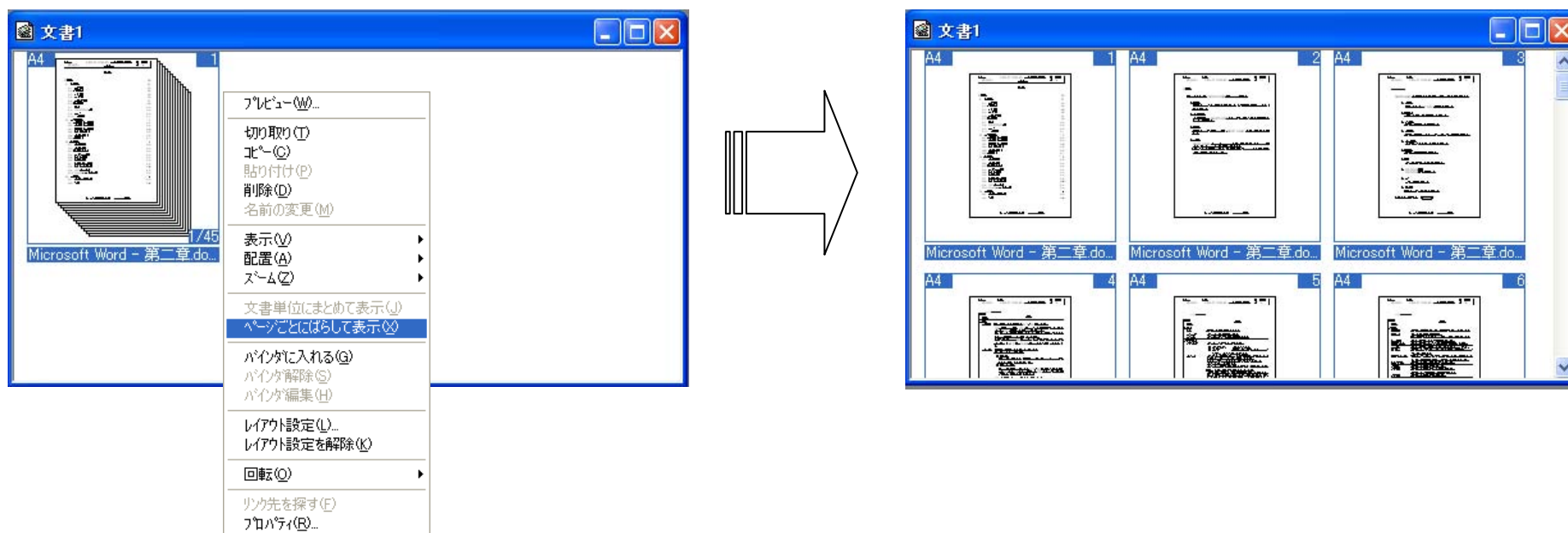
プレビュー

スナップショット

●ページごとにばらして表示／文書単位にまとめて表示

REPORT HOLDER 印刷を実行したスプールファイル単位で編集ウィンドウに挿入すると、複数のページが重なり束ねられた状態または各ページが展開された状態で表示されます。
この状態から各ページを展開または束ねて表示することができます。

・ ばらして表示

展開したいページを選択して、「ページごとにばらして表示」メニューを実行します。

・ まとめて表示

展開したページの先頭ページを選択して、「文書単位にまとめて表示」メニューを実行します。
ただし、ページの入れ替え等を行った場合、以降のページが束ねられないことがあります。

●バインダ

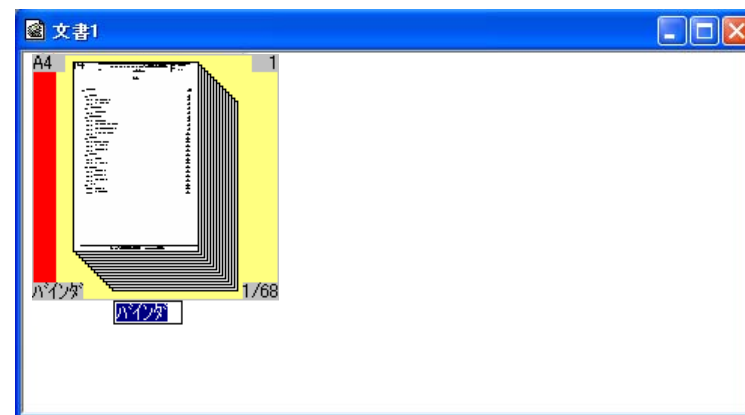
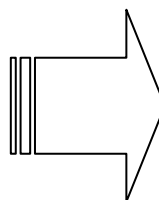
作成時の文書単位が異なっていてもまとめて操作をしたい場合などに、グルーピングを行う機能としてバインダ機能があります。
編集ウィンドウに挿入した複数の文書を、ひとつの単位にまとめておくことができます。

- **バインダにまとめる**

  バインダにしたいページを選択して、「バインダに入れる」メニューを実行します。選択されているページはすべてバインダとしてまとめられます。
  既にあるバインダにページを追加するには、バインダと追加のページを選択して、「バインダに入れる」メニューを実行します。
- **バインダを解除する**

  バインダを個々のページの状態に戻すためには、「バインダ解除」メニューを実行します。
- **バインダを編集する**

  バインダにまとまった状態のままで、バインダ内を編集することができます。「バインダ編集」メニューを実行すると、別の編集ウィンドウが作成され、バインダ内のページが表示されます。
- **バインダに名前を付ける**

  バインダには、任意の名前を付けることができます。「名前の変更」メニューを実行して名前を設定します。

■ファイル操作

●編集した文書を印刷する

REPORT HOLDER エディターで編集した文書を印刷します。

・ 印刷

ファイルメニューから「印刷」メニューを実行します。

●編集したファイルを保存する

REPORT HOLDER エディターで編集した文書をファイルに保存します。

・ 保存

ファイルメニューから「名前を付けて保存」または「上書き保存」メニューを実行します。
「名前を付けて保存」のとき、「ファイルの種類」で CVD ファイル形式か CRD ファイル形式かを選択することができます。

■動作設定

●表示モードを変更する

REPORT HOLDER エディターの各ウィンドウは、以下の表示モードを持っています。

表示ウィンドウ

・ 大きいアイコン表示／小さいアイコン表示
スプールファイルを大きいアイコンまたは小さいアイコンの形式で表示します。
「大きいアイコン」または「小さいアイコン」メニューを実行すると表示が切り替わります。

・ 一覧表示
スプールファイルをリスト形式で表示します。
「一覧」メニューを実行すると表示が切り替わります。

・ 詳細表示
スプールファイルをリスト形式で表示します。ファイル名の他に、用紙情報などの詳細情報についても表示します。
「詳細」メニューを実行すると表示が切り替わります。

・ イメージ表示
スプールファイルをイメージ表示します。イメージ表示の表示倍率についても設定することができます。
「イメージ表示」メニューを実行すると表示が切り替わります。

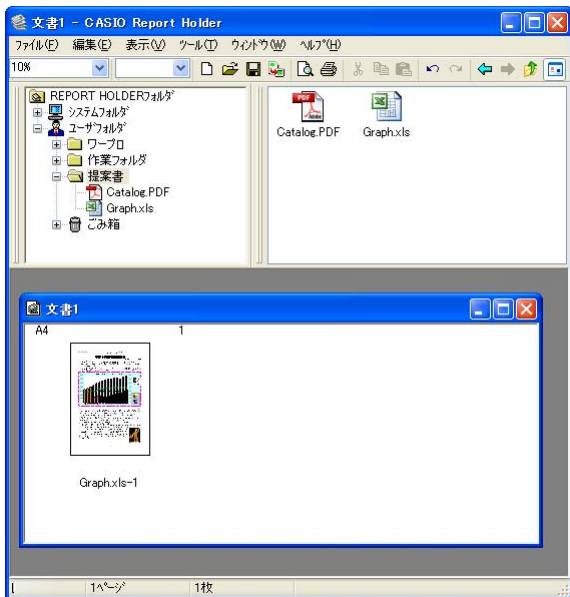
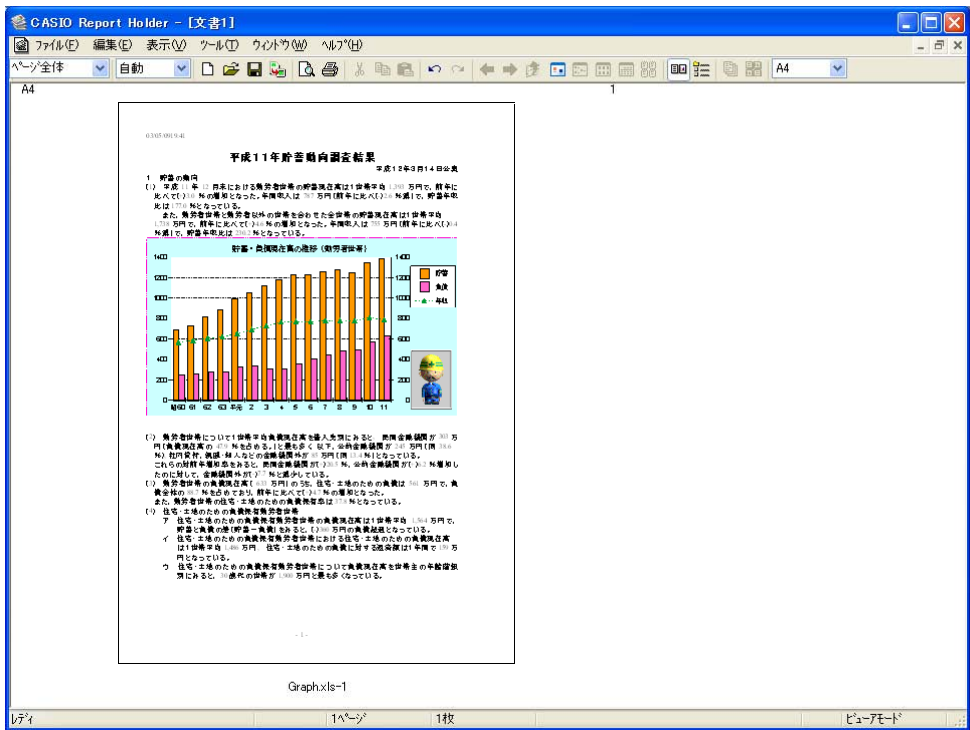
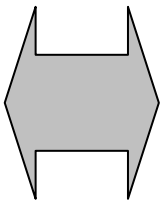
編集ウィンドウ

・ リスト表示
編集ページをリスト形式で表示します。用紙情報などの詳細情報についても表示します。
「リスト表示」メニューを実行すると表示が切り替わります。

・ 概観表示
編集ページをイメージ表示します。また、概観表示の表示倍率についても設定することができます。
「概観表示」メニューを実行すると表示が切り替わります。

エディターモード／ビューアーモード

REPORT HOLDER エディターでは、「エディタモード」と「ビューアモード」を切り替えることで、ウィンドウの状態を一括して変更することができます。

- エディターモード
  REPORT HOLDER エディターの表示状態のひとつで、初期状態では編集に適した状態で表示される設定になっています。
  エディターモードの表示状態は、エディターを終了するか、ビューアーモードに移行する時に、その時点の状態を記憶します。
- ビューアーモード
  REPORT HOLDER エディターの表示状態のひとつで、初期状態ではプレビューにより近い状態で表示される設定になっています。
  ビューアーモードの表示状態は、初期状態では記憶されないため、ビューアーモードに切り替えると常にプレビューに近い状態の表示に切り替わります。
  ビューアーモードの表示状態を変更して記憶させるためには、エディター設定ダイアログボックスの「ビューアモードの設定を個別保存」項目をチェックします。

エディタモード

ビューアモード

●エディター環境をカスタマイズする

REPORT HOLDER エディターの動作や環境を設定して使い易いようにカスタマイズすることができます。

- **環境設定**
  エディターで利用するフォルダーの設定などを指定します。
  ツールメニューから「環境設定」メニューを実行すると設定を行う環境設定ダイアログボックスが表示されます。
- **エディター設定**
  エディターの表示設定などを指定します。
  ツールメニューから「エディタ設定」メニューを実行すると設定を行うエディター設定ダイアログボックスが表示されます。

便利な使い方

（１）REPORT HOLDER 印刷機能（プレビュー＆レイアウト）を、印刷プレビュー機能として使用することができます。
印刷プレビュー機能で、印刷の前にレイアウトを確認してみてください。

（２）レイアウトを変更して印刷することができます。元の文書より大きい用紙に拡大して印刷したり、複数のページを１枚の用紙に割り付ける
マルチページ機能を使用することもできます。

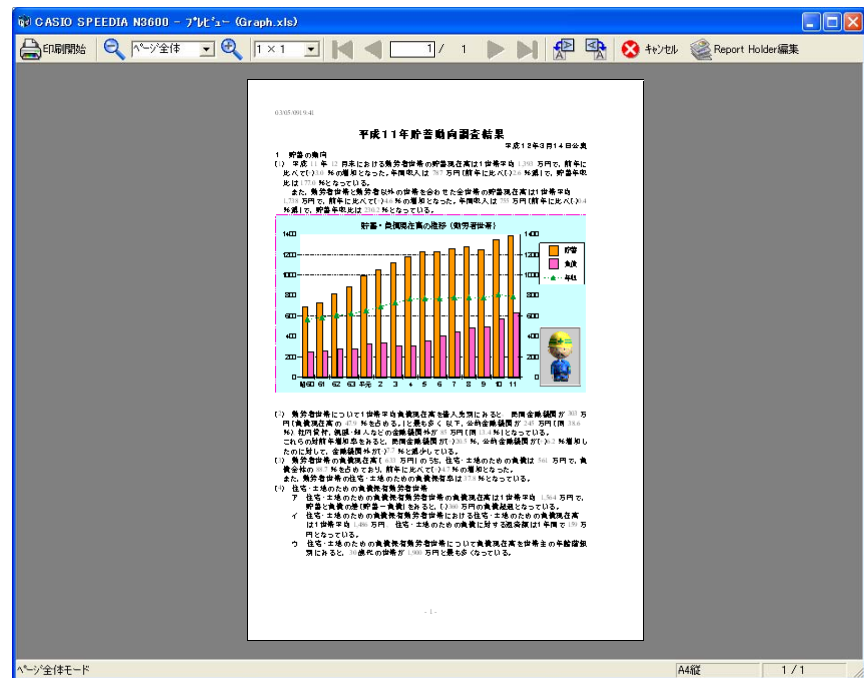
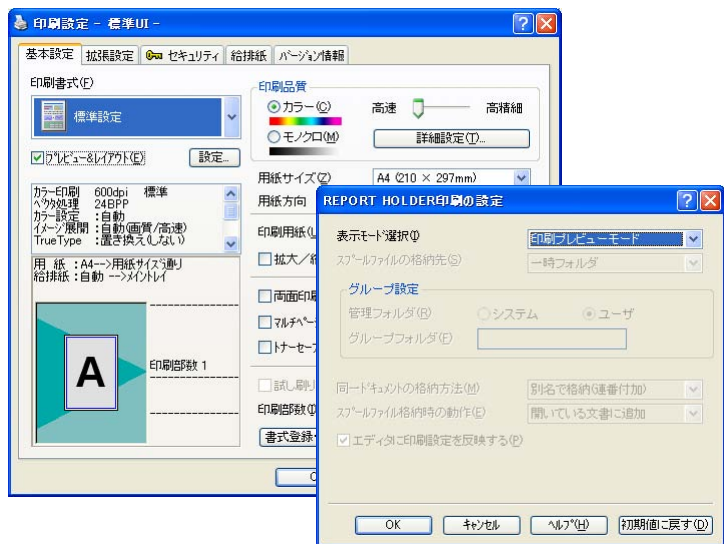
（３）過去に REPORT HOLDER 印刷を実行して作成したスプールファイルは、REPORT HOLDER エディターで削除を行わない限りそのまま
保管されます。（一時フォルダのスプールファイルを除く）
保管されているスプールファイルのページを抜き出して REPORT HOLDER 文書に挿入することができます。

（４）REPORT HOLDER エディターでは、２つ以上の文書を結合することもできます。
元の文書が異なるアプリケーションで作成されていても、１つの文書にまとめておくことができます。

（５）REPORT HOLDER エディターで、CVD ファイル形式で保存しておくと、REPORT HOLDER 印刷によってスプールファイルが更新され
た時に、更新されたページの内容が反映されます。
REPORT HOLDER 印刷を行うたびに変更されたページを差し替える必要がありません。
逆にスプールファイルの更新に影響を受けないようにするには、CRD ファイル形式で保存します。

（１）印刷プレビュー機能として使用する

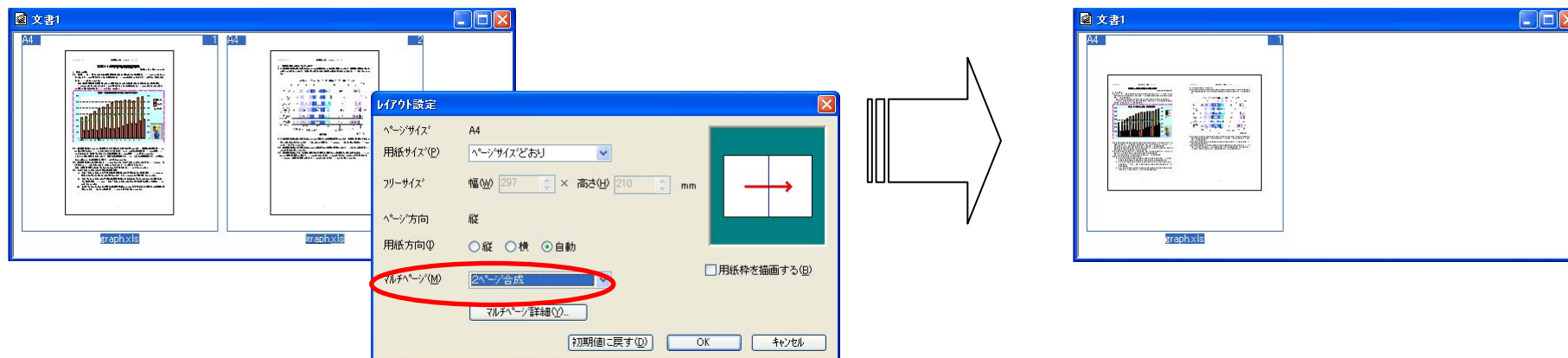
印刷を行う前に、プレビュー機能を使用して、概観を確認することができます。

1. REPORT HOLDER 印刷を実行する
   REPORT HOLDER 印刷機能（プレビュー&レイアウト）に対応したプリンターを選択して印刷を実行します。
   印刷前にプレビューを行うためには、「表示モード選択」で「印刷プレビューモード」を選択して印刷を実行します。
2. イメージを確認する
   プレビューウィンドウが起動して、各ページの概観を確認できます。
3. 印刷を実行する
   プレビューウィンドウで確認した結果に問題がなければ、「印刷開始」を実行して、プリンターに印刷させます。
4. REPORT HOLDER エディターで編集する
   レイアウトの変更などを行う場合には、「Report Holder 編集」を実行して、REPORT HOLDER エディターを起動します。

（２）レイアウトを変更して印刷する

REPORT HOLDER 印刷を行った文書は、レイアウトを変更することができます。

1. REPORT HOLDER 印刷を実行する
   REPORT HOLDER 印刷機能（プレビュー＆レイアウト）に対応したプリンターを選択して印刷を実行します。
   REPORT HOLDER 印刷設定の「スプールファイル格納時の動作」は、「新しい文書を作成」を選択しておきます。

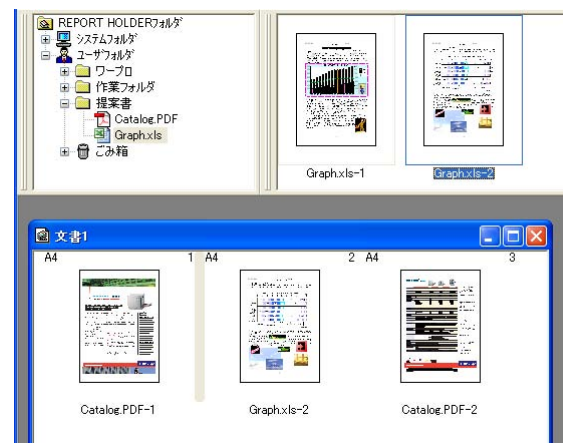
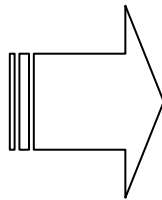
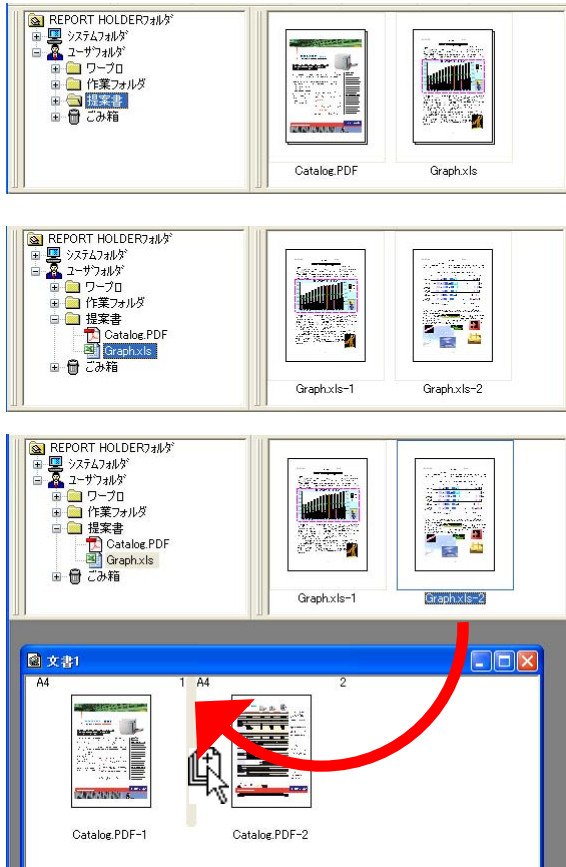
2. レイアウトを変更する
   REPORT HOLDER エディターが起動して、印刷した文書が編集ウィンドウ上に展開されます。レイアウトを変更したいページを選択して、レイアウト設定を行います。
   表示されたレイアウト設定ダイアログで、ページサイズを変更したり、マルチページ設定を行うことができます。

3. 保存または印刷する
   レイアウトを変更した文書は、印刷したり、ファイルに保存しておくことができます。

（３）スプールファイルのページを抜き出して文書に挿入する

スプールファイルからページを抜き出して文書に挿入することができます。

1. フォルダーを開く
   スプールファイルの保存されているフォルダーを開きます。
   選択ウィンドウの該当ツリーをクリックしてください。

2. スプールファイルを選択する
   更に、スプールファイルを選択します。
   このまま、スプールファイル全体を編集ウィンドウに挿入することもできますが、一部のページだけを挿入する場合には、表示ウィンドウで該当スプールページを選択してください。

3. ページを挿入する
   スプールページをドラッグ＆ドロップなどで編集ウィンドウに挿入します。

（４） ２つ以上の文書を結合する

２つの文書を、REPORT HOLDER 印刷を実行して、１つの結合した REPORT HOLDER 文書として保存することができます。

1. REPORT HOLDER 印刷を実行する
   REPORT HOLDER 印刷機能（プレビュー＆レイアウト）に対応したプリンターを選択して印刷を実行します。REPORT HOLDER 印刷設定の「スプールファイル格納時の動作」は、「新しい文書を作成」を選択しておきます。「表示モード選択」は、「エディタモード」が選択されているかことを確認してください。

2. ２つ目の文書を印刷する
   ２つ目の文書を印刷します。REPORT HOLDER 印刷設定の「スプールファイル格納時の動作」は、「開いている文書に追加」を選択しておきます。

3. 文書イメージを確認する
   REPORT HOLDER エディターの編集ウィンドウ上に、REPORT HOLDER 印刷した２つの文書が展開されます。
4. 保存または印刷する
   ２つの文書が結合した編集ウィンドウの内容を、印刷したり、ファイルに保存しておくことができます。
5. 一度 REPORT HOLDER 印刷を行った文書は、削除しない限りフォルダーに残っています。
   選択ウィンドウから、編集ウィンドウにドラッグ＆ドロップすることで、異なる文書に挿入することもできます。

（５）CVD ファイル形式で保存

CVD ファイル形式で保存しておくと、REPORT HOLDER 印刷によってスプールファイルが更新された時に、更新されたページの内容が反映されます。

1. 名前を付けて保存
   ファイルメニューから、「名前を付けて保存」を選択します。
2. ファイルの種類を選択
   「ファイルの種類」で CVD ファイル形式を選択します。
3. 保存を実行
   ファイル名を指定して、OK ボタンをクリックすると CVD ファイル形式で保存されます。

（６）CRD ファイル形式で保存

他のコンピューターで REPORT HOLDER 文書を正しく表示するためには、CRD ファイル形式で保存します。

1. 名前を付けて保存
   ファイルメニューから、「名前を付けて保存」を選択します。
2. ファイルの種類を選択
   「ファイルの種類」で CRD ファイル形式を選択します。
3. 保存を実行
   ファイル名を指定して、OK ボタンをクリックすると CRD ファイル形式で保存されます。

こんなときは

REPORT HOLDER がインストールできない

- REPORT HOLDER をインストールするためには、セットアッププログラムを実行します。
  詳しくは、「REPORT HOLDER のセットアップ」の章を参照してください。

REPORT HOLDER 印刷ができない

- REPORT HOLDER エディターのインストールを行っていないと、REPORT HOLDER 印刷はできません。

- REPORT HOLDER 印刷機能（プレビュー＆レイアウト）に対応したプリンターでなければ、REPORT HOLDER 印刷はできません。

- プリンターのインストールには、セットアップを実行してください。
  プリンターフォルダーの「プリンターの追加」からインストールした場合には、REPORT HOLDER 印刷機能（プレビュー＆レイアウト）が選択できません。

- REPORT HOLDER 印刷機能（プレビュー＆レイアウト）に対応した SPEEDIA プリンタードライバーでは通常の印刷と REPORT HOLDER 印刷機能を切り替えて使用します。
  REPORT HOLDER 印刷機能を有効に設定し、「表示モード選択」が「エディタモード」または「ビューアモード」が選択されているかことを確認してください。

- セットアップを行った直後には、コンピューターの再起動を行ってください。

スプールファイル内の文字が正しく表示されない

- REPORT HOLDER 印刷時に使用していたフォントが、表示するときに存在しないことが考えられます。
  アプリケーションによっては、一時的にフォントを生成する場合があります。
  この場合、フォントの変換指定を行って、フォントをイメージに変換する設定にすると、正常に表示されます。

- フォントの変換には、「CASIO SPOOL CONVERT」プリンタードライバーが必要です。このプリンタードライバーが削除されている場合、フォント変換が行われません。この場合には、REPORT HOLDER エディターを再インストールしてください。

お問い合わせ窓口

製品の修理・メンテナンスに関するお問い合わせ

修理の内容・方法・期間・費用など詳しくは下記までお問い合わせください。

0570-033066　携帯電話・PHS 等をご利用の場合　048-233-7243

製品の機能設定方法・ソフト障害に関するお問い合わせ

0570-066044　携帯電話・PHS 等をご利用の場合　048-233-7232

カシオテクノ株式会社　カスタマーコンタクトセンター

<受付時間>月曜日～土曜日　AM9:00～PM5:30（日･祝日･年末年始･夏期休暇等を除く）

消耗品やオプションのご購入に関するお問い合わせ

お買上の販売店および弊社営業所までお問い合わせください。

お客様サポートホームページ　**http://casio.jp/support/ppr/**

SPEEDIA

REPORT HOLDER for SPEEDIA ソフトウェアマニュアル

2011年7月23日　第10版発行

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

カシオ電子工業株式会社